

公表日

2026年 1月 20日

事業所名

こばんはうすさくら立川幸町教室

保護者等数(児童数) 54名 回収数 42件(割合77.7%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	4	0	9	子ども自身が十分なスペースがあると話しています。 整理整頓が良くされているので、限られた空間でも十分に活動できていると思います。	規定通りのスペースを確保させていただいております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	9	1	11	少し人数足りてないのかな?と感じる事がたまにあります。 十分な配置数で、先生方に細やかな対応をしていただいております。	お子さま9~10名に対して、職員4~5名配置しております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	2	0	10	整理整頓がされており、子供が活動に集中できる環境になっていると思います。 また、視覚的に分かりやすい工夫もされており、子供も安心して通所しています。	トイレ内に手すりをつけております。 また、活動空間には段差などの障害物がないような作りとなっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	5	0	6	いつも整理整頓されており、子ども自身も心地よく過ごせていると話しています。	お子さまの受け入れ前に攻撃の時間を設け、清潔な環境を保てるよう心がけております。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	7	0	1	子どもの特性を好意的に受け止めて、子どもの特性に合わせた支援を提供していただいております。	OJTの研修期間を設けて、職員の支援技術の向上を図っております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	38	1	0	3		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	37	2	0	3	これまでに作成していただいた個別支援計画書は、いずれも上記要件を満たしたものです。 個別支援計画を改まって最近頂いた記憶が無いので、頂けたら幸いです。	特性と年齢を考慮し取り組んでおります。 アプリにて個別支援計画の確認をして頂いております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	1	0	13	これまで本人支援については適切な支援設定がされておりましたが、他の事業所も含めて家族支援や移行支援といった項目がどれを指すのかは把握できていません。	ガイドラインに沿った支援を提供しております。 移行支援に関しては、日々の個別課題(身辺自立や社会性、制作課題)で培っております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	0	0	9	本人支援については行われておりますが、上記同様に家族支援や移行支援といった項目がどれを指すのかは把握できていないため分かりません。	ガイドラインに沿った支援を提供しております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	38	3	0	1	日々、工夫を凝らした楽しいプログラムが用意されているので、子供も楽しんで通所しております。 他の追随を許さない勢いでバラエティに富んでいると思います。我が家におけるお出かけの可能性も広がるので、とても感謝しております。 毎月、先月の同様のプログラムがあると思います。	マンネリ化しないように活動内容は毎月に変化があるようにしております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	15	1	3	23	公園での活動プログラムの際は、公園に遊びに来ている地元の子供達と交流しながら遊んでいると子供や先生方からも聞いています。 積極的に動いていると思えないが、そもそも短い放課後の時間の中でできることなどはあまりないのではないか。	放課後の時間ではなかなか設けられる機会がありませんが、休日に近隣の児童館や、地域のイベントに参加して、交流の機会を提供しております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	39	1	0	2	契約時や適宜必要なタイミングで丁寧な説明を受けております。	契約時にお話させていただいております。 個別で問い合わせがあった際には職員が説明をしております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	3	2	6	支援内容について説明を受けています。	送迎時や面談時にお話しさせて頂いております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トreening等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	9	4	15	交流会等の案内はこれまでいただいたことがあります、都合が合わずに参加したことがないため内容の詳細についてまでは把握できておりません。 先日行われたBBQのような交流会をこれからも増やして頂けたら嬉しいです。	今年11月に、保護者交流会として、保護者様参加型のBBQイベントを開催しました。 今後も定期的に開催できるよう企画しております。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	39	3	0	0	お迎えの際には必ず子供の状況について確認するため、共通理解は十分にできていると思います。	送迎時やHUGアプリを通じてご連絡をしています。

保護者への説明等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	12	5	6	お迎えの際や必要に応じて連絡アプリ等でご助言いただいております。定期的に面談もして頂きたいです。	帰りの送迎時やHUGでお伝えさせて頂いています。ご希望があった際には、電話やアプリでのご対応をさせて頂いております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	38	1	0	3	親子ともどもいつも温かいご支援をいただいております。	お子様や保護者様にも安心して過ごしていただけるよう今後も努めてまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	5	5	12	これまで予定が合わずに参加したことはありませんが、交流会等の案内はいただいたことがあります。まだ回数が少ないと思うので、大変でしょうが増やして頂けたら嬉しいです。	今年11月に保護者様、ご家族様参加型のBBQイベントを開催しました。今後もこういった機会を設けていければと考えております。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	3	0	9	相談事にはいつも素早く対応していただいております。	こういったご連絡があった際には、早急に報告をあげるよう、職員に改めて周知してまいります。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	5	0	2	今まで先生方とのやり取りにおいて、不快な思いをしたことは一度もないのですが配慮されています。	その点に関しましては、職員一同十分に配慮しながらご対応させて頂いております。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	37	2	0	3	連絡アプリやメール等を通じて、発信されています。	インスタグラムやHUGシステム、ホームページを用いて、公表させていただいております。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	1	0	8	契約時に個人情報の取り扱いについて書面で確認しています。	十分に注意して取り扱いさせていただきます。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	2	0	11	緊急時の避難場所の案内や感染症対応に関する規定などはメール等で周知されています。マニュアルは見たことがないが訓練には結構時間を割いているようだ。	契約時やHUGシステムを用いて周知させていただいております。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	1	0	9	定期的に避難訓練等を行っています。	定期的に地震、火災を想定した避難訓練を実施しております。また、備蓄品を常に持ち出せる位置に配置し、定期的に身中の点検もしております。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	1	1	11	契約の際やその他必要に応じて安全確保についての説明を受けています。	
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	36	4	0	2	少しの怪我でも必ず報告をいただいている。また事故に繋がる可能性のある事案においても、即座に状況説明ならびに対応策を示してくださるので、信頼して通わせることができます。	事故、ケガ、見失いなどの注意喚起や予防策を立て予防研修をしております。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	41	1	0	0	先生方への信頼感も厚く、子供は安心して過ごしています。	温かいお言葉を頂けて、大変嬉しく思います。運営と支援にご満足いただけるよう、向上に努めています。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	36	5	0	1	毎回楽しみにしています。小さい子供ばかりでつまらないと言っています。	温かいお言葉を頂けて、大変嬉しく思います。運営と支援にご満足いただけるよう、向上に努めています。
	29 事業所の支援に満足していますか。	39	3	0	0	いつも丁寧な支援をしていただき、親子ともども感謝しています。いつもありがとうございます。	温かいお言葉を頂けて、大変嬉しく思います。運営と支援にご満足いただけるよう、向上に努めています。たくさんのご要望をいただいておりますが、ご希望に沿うことができない事がございますが、ご理解いただけますようよろしくお願い申し上げます。

公表日

2025年 12月 27日

事業所名

こばんはうすさくら立川幸町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	2	東京都が定めている定員数となっている。	部屋がいくつもあるため、目の届かない箇所をなくすための職員の配置やルールを策定していく。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	1	東京都が定めている配置となっている。	職員数が多すぎることで役割が明確にできずむしろヒヤリが発生しやすい。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	4	色分けによる認知理解や、パーテーションで視界を区切り分かりやすくできている。 ロッカーにイラストが貼ってあり、何をどこに置くかが見て分かるようになっている。	教室内で子供達のドアの出入りが多い。子供にも鍵を開けられてしまい構造的に危なく感じる場面がある。 室内の掲示などが整備しきれていない、視覚的にわかりやすくしたり、気が散らないような配慮が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	7	児童受け入れ前、もしくは業務後の清掃を徹底している。	活動中に出したものがそのままになっていることが多い。 床が気になる。（隙間にゴミがたまっている等） 布団などの洗濯などが不衛生に思う時がある。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	1	個別課題の部屋が定着していて、必要な時以外使用しないでわかりやすい。 個室の他に、パーテーションで個別空間を作ることもできる。 風邪による隔離や昂ってしまった際のクールダウンに使用できるようにしている。	勝手に使おうとする児童もいるため、相談の必要性はある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	6	定期的な会議や打ち合わせで共有しておられます。	送迎や午後の活動との兼ね合いにより、同じ職員ばかりの参加になってしまることが多い。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	5	特性と年齢を考慮し取り組んでいる。	去年は会議の時間を使って共有できていたが、今年は行えていないため、LINEを活用して職員間に共有を行う。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	5	意見書を用意し、質問しやすい環境作りをしている。 業務後の振り返りで意見交換ができる。	個別面談など、設けてはいるがこまめにはできていない。 特定の職員間の共通認識になっていると感じることがあり、それに対して意見は言いづらい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	11	保護者様やモニタリングで訪問した相談員さんによる評価を聞き、改善に勤めている。	一部の職員しか伺う機会がないため、職員全体への周知、共有を行っていくよう努める。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	外部の研修を受講する機会を設けている。 自分自身で見つけた講座をうけさせてくれる。	今後も継続していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	3	時期や児童に合わせたプログラムを作成し、HUGシステムを用いて、保護者様向けに公表している。	今後も継続していく。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	14	2	時期に合わせてアセスメントを取り、職員間で共有、理解に努めている。	今後も継続していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	1	定例会議の活用して行っている。	ここ最近は会議を設けられていないため、機会を徐々に増やしていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	5	作成した支援計画を職員に公表し、共通理解に努めている。 共有と、いつでも確認できるよう保管されている。	今後も継続していく。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	7	振り返りなどで挙げられた行動を個別に記録することで対応している。	できていないと感じている職員もいるため、他の方法も試していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	2	時期に合わせてアセスメントを取り、保護者様からの要望も取り入れて作成に努めている。	今後も継続しつつ、本人支援になりがちなため、ご家族様の要望をより聞き取り、様々な支援に努めしていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	0	2名以上でプログラムの立案に努めている。 職員会議で話せる機会が多くあった。	今後も継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	0	毎回同じものにならないよう、参加者に合わせて考えている。	今後も継続していく。

適切な支援の提供	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	15	1	日々の児童の様子を共有し、状況に則した支援提供を行っている。	今後も継続していきつつ、個別課題の踏み切るタイミングや内容が甘い感じる事があるため、職員間での話し合いに努めていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	1	送迎開始前にミーティングを実施し、一日の流れや役割分担について確認している。	出勤時間を遅らせてからはミーティングに参加できず、ないと感じることがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	2	支援終了後に振り返りを行い、その日の様子などを再確認する時間を設けている。	送迎業務に出てしまい、全員で打ち合わせをすることがなかなか難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0	職員間で共有をし合いながら支援の検証、改善に務めている。	今後も継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	3	定期的に行い、モニタリング後に支援に対する意見の交換をしている。	今後も継続していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	3	ガイドラインに沿って個別支援計画の作成し、それを基に支援を行っている。	今後も継続していく。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	本人の意思を尊重するようにしている。	今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	1	児童発達支援管理責任者が必ず参加している。	今後も継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	4	他事業所での支援の仕方を当事業所でも行っている。	今後も継続していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	3	保護者様を通じて行っている。	今後も継続していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	3	就学支援シートに教室での様子を記載し、情報共有に努めている。	できていない園もあるため、より密な関係性作りに努めたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	4	ここ最近は障害福祉サービス事業所に移行する児童がいなかつたが、以前は行っていた。	今後も継続していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	10	地域の児童発達支援センターと関係作りに努めている。 ぜひ経験してみたい。	話し合いの機会を設けていきたいと思う。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	12	地域のイベントや公園を利用した際に、地域の子たちと交流する機会がある。	今後も継続していく。
保護者への説明等	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	5	放ディ連絡会などに参加している。	今後も継続していく。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	2	HUGシステムや送迎時、電話面談を通じて情報共有を行っている。	今年11月に保護者参加型のBBQイベントを行った。今後も定期的に開催し、こういった機会に繋げていきたい。 もう少し、保護者の方への聞き取りや話す機会、時間がほしい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	7	今年11月に保護者参加型のBBQイベントを行った。	家族支援プログラムや研修は行えていないため、今後できるよう検討していきたいと思う。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	2	契約時に説明をしている。	今後も継続していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	1	お子さんの利益や保護者様のニーズを踏まえ、作成に努めている。	ご要望があれば、電話などで個別に面談の機会を設けさせていただきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15	1	説明時に確認してもらしながら内容を伝えている。	ご要望があれば、電話などで個別に面談の機会を設けさせていただきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	3	HUGシステムや送迎時、電話面談を通じて行っている。	もう少し保護者の方への聞き取りが必要だと思う。
保護者会等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	1	今年11月に保護者参加型のBBQイベントを行った。	父母の会など、ご要望があれば検討させていただきたいと思います。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0	HUGシステムや送迎時、電話面談にて対応している。	今後も継続していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	16	0	年に4回作成し、HUGシステムを用いて保護者様向けに公表している。	今後も継続していく。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	1	シュレッダーで処分するなど、留意できている。	以前裏紙で送迎表を使ってしまうことがあった。職員に迅速に共有、注意喚起を行った。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0	マカトンサインや絵カードを用いるなど、様々な工夫を凝らしている。	今後も継続していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	11	感染症が流行ってから行えていない。	今後状況次第で考えていきたいと思う。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	0	避難訓練を定期的に実施している。	今後も継続していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0	避難訓練を定期的に実施している。	今後も継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	1	朝のミーティングで都度確認している。	今後も継続していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0	ファイルを作成し職員間で都度確認している。 対応の仕方について共有をもらい、そのように対応している。	今後も継続していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	2	職員間で訓練している。 研修が増えたように思う。	同じ事故を起こさぬよう、安全管理をより徹底していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	3	送迎時やHUGの機能を用いて周知している。	今後も継続していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	1	日々の振り返りや定例会議を用いて行っている。	定例会議がここ最近設けられていないため、徐々に機会を増やしていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	定期的に研修機会を確保している。	今後も継続していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	3	必要がある保護者様に説明をし、同意をもらっている。	今後も継続していく。